MITSUBISHI ELECTRIC

三菱全自動電気洗濯機

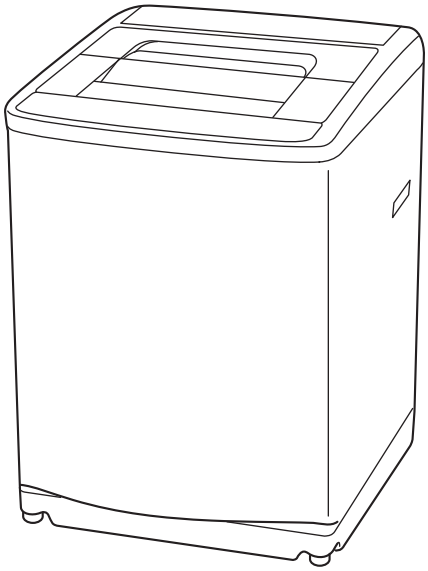
形名

MAW-70BP

エム エイ ダブリュ ビー ピー

据付工事説明書

販売店・据付業者様用



もくじ

据え付けの前に

安全のために必ず守ること…… 2
運搬時のお願い…… 4
開梱時のお願い…… 4
使用部品…… 4
使用箇所…… 5

据え付け場所の確認

据え付け場所…… 6
防水パン、洗濯機用トレー、全自動専用設置台…… 6
防水パンの設置…… 7
排水トラップの設置…… 7
糸くずボックスの設置…… 7

据え付け

排水ホースの引き出しかた…… 8
排水ホースの接続…… 9
水平を確認する…… 11

アース線の接続と電源の確認

アース線の取り付け…… 13
電源(コンセント)…… 13

給水ホースの確認

水栓(蛇口)の確認…… 14
ワンタッチつぎての取り付けかた…… 15
給水ホースの取り付けかた・外しかた…… 16

点検

据え付け後の確認…… 18
試運転…… 18
お客様への説明…… 19

お客様は施工しないでください。

据え付けをされる方へ	●据え付け前には、「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。(2～3ページ) ●製品の機能が十分発揮されるように、この「据付工事説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。 ●据え付け終了後は、「試運転」「洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)」に従って、確認を行ってください。 ●この「据付工事説明書」は、お客様にお渡しください。 ●この「据付工事説明書」の内容どおりに据え付けしていない場合は、危害や損害を生じても負担をおいかねますのでご了承ください。
お客様へ	●据え付けは、お買い求めの販売店か必要に応じて施工業者にご依頼ください。 ●転居や排水口などの点検時に、本体を移動する場合がありますので、この「据付工事説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

安全のために必ず守ること

据え付ける前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

禁止

お客様ご自身では据え付けない

お客様ご自身での据え付けは事故の原因になります。
据え付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。

禁止

有機溶剤を扱う場所に据え付けない

引火して火災の原因になります。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤を扱う場所には据え付けないでください。

水場禁止

浴室など湿気の多い場所には据え付けない

絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
浴室など湿気の多い場所を避けて据え付けてください。

水場禁止

風雨にさらされる場所には据え付けない

絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
風雨のあたらない場所に据え付けてください。

禁止

キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない

本体の異常振動により、けがの原因になります。
しっかりした床に水平に据え付けてください。

禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しない

そのまま使用すると感電・ショート・発火の原因になります。
修理を実施してください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードの傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじりや重いものを載せたり、挟み込みなどをしないでください。

禁止

タコ足配線はしない

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントを単独で使ってください。

禁止

延長コードは使用しない

過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
延長コードを使用せずに電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると感電の原因になります。
電源プラグを抜き差しするときは、手を拭いてください。

指示

全自動専用設置台を使用する

本体を高くする場合に全自動専用設置台以外を使用すると、本体の下に手足などが入り、けがをする恐れがあります。
本体を高くする場合には、全自動専用設置台を使用してください。

指示

防水パン使用時は、防水パンの排水に注意する

防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれて感電する恐れがあります。
防水パンの排水に異常がないか確認をしてください。

⚠警告

電源

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントの定格を確認のうえ、単独で使ってください。

電源

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電やショートして発火することがあります。
電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

清掃

電源プラグは乾いた布でよくふき取る

ほこりが付着していると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取ってください。

アース線接続

アース線を取り付ける

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アース工事は第二種電気工事士が行ってください。ガス管、電話線、避雷針、水栓には接続しないでください。(法令などで禁止されています)

⚠注意

禁止

包装用バンドを持って荷扱いしない

包装用バンドが切れ、けがをする恐れがあります。
本体を持って荷扱いをしてください。

禁止

包装箱をひきずらない

床面を傷つける恐れがあります。
家屋内で包装箱をひきずらないでください。

禁止

給湯器とつながない

瞬間的に50℃以上の温水が給水され、プラスチック部分の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。
給湯器とはつながないでください。

指示

本体を水平に据え付ける

本体の異常振動により、けがの原因になります。
しっかりした床に水平に据え付けてください。

水漏れ

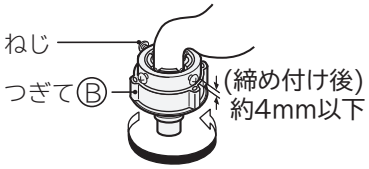
水栓(蛇口)およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする

振動により水漏れの原因になります。
水栓(蛇口)およびワンタッチつぎてが本体に触れないように据え付けてください。

水漏れ

ワンタッチつぎてをしっかり締め付ける

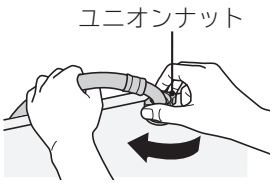
付属品以外のワンタッチつぎてを使用したり、締め付けが不十分な場合、水漏れの原因になります。
付属品のワンタッチつぎてを使用して水栓にしっかり締め付けてください。



水漏れ

給水ホースの本体接続時は、ユニオンナットをしっかり締め付ける

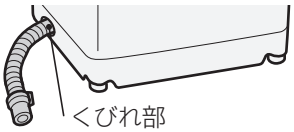
ユニオンナットが緩むと水漏れの原因になります。
給水ホースを本体に接続するときは、給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまで回す。さらにユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付けてください。



水漏れ

排水ホースは適正位置まで引き出す(排水ホースを内部で直接排水口に入れない)

内部でたるんでいると、ほかの部品と接触し、ホースが破れて、水漏れの原因になります。
排水ホースを引き出し、刻印文字を本体の外側に合わせて、くびれ部をホース引出口に差し込んでください



水漏れ

水漏れがないか確認する

ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
据え付け直後や移設直後など水栓接続を変えたあとは、水栓(蛇口)を開いて水漏れがないか確認してください。

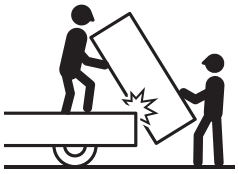
指示

手袋を着用する

包装用バンドやダンボールの切口端面でけがをする恐れがあります。
据え付け作業時には手袋を着用してください。

運搬時のお願い

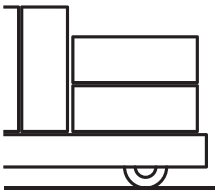
■突当て厳禁



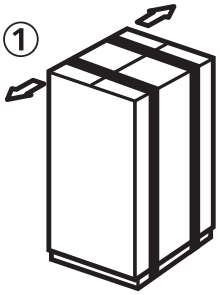
■落下厳禁

■ひざ当て厳禁

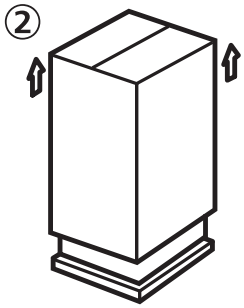
■横積・横倒厳禁



開梱時のお願い



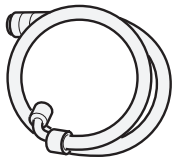
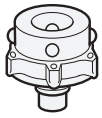
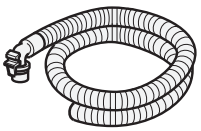
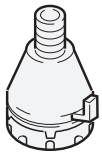
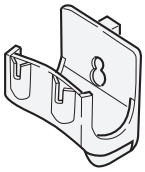
二本のバンドを
外してください。



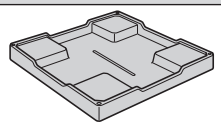
ダンボール箱を
持ち上げて
外してください。

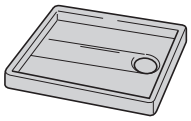
使用部品

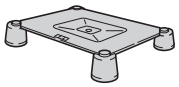
据え付け部品は、付属品および指定の部品を使用してください。

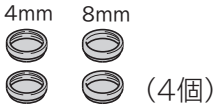
こんなときに	付属品
水栓(蛇口)と接続するとき	**給水ホース(約0.8m)**  (1本)
水栓(蛇口)と接続するとき	**ワンタッチつぎて**  (1個)
風呂水を使うとき	**お湯取ホース(約4m)**  (1本)
風呂水を使うとき	**クリーンフィルター**  (1個)
お湯取ホースを片付けるとき	**お湯取ホース掛け**  (1個)
本体の水平を確認するとき	**水準器** ※水準器は洗濯機専用です。 (1個)

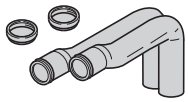
こんなときに	別売り部品
床面を結露による水滴から守るとき	**洗濯機用トレー（YT-4）** (幅640×奥行640×高さ83mm)
床面を本体からの水漏れや、結露による水滴から守るとき (専用部品が必要な場合があります)	**洗濯機用防水パン（TP-780）** (幅780×奥行640×高さ63mm) 排水・配管などの工事が必要です。 配管工事店または販売店にご相談のうえ、お買い求めください。
本体を高くするときや、防水パンに入らない場合の設置のとき	**全自動専用設置台（UP-D3）**
本体を水平に据え付けるとき	**脚キャップ（高さ調整用）** （部品番号 NW-D8BX-065）
排水口が洗濯機の真下にあるとき	**直下排水Ｌ形パイプ（HO-P5）**
排水ホースを延長したいとき	**延長用排水ホース（約80cm）** （部品番号 KW-50K1-023）
排水口に接続するとき	**Lパイプ** （部品番号 BD-V3700L-003）
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	**糸くずボックス（WLB-4）** （排水ホース：長さ800mm）
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	**洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** 排水トラップの取り付けには、排水・配管などの工事が必要です。配管工事店または販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

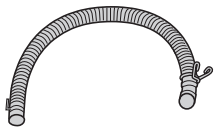


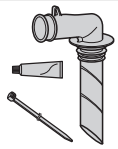


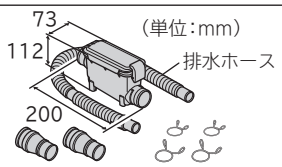


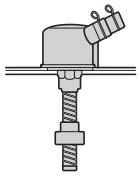




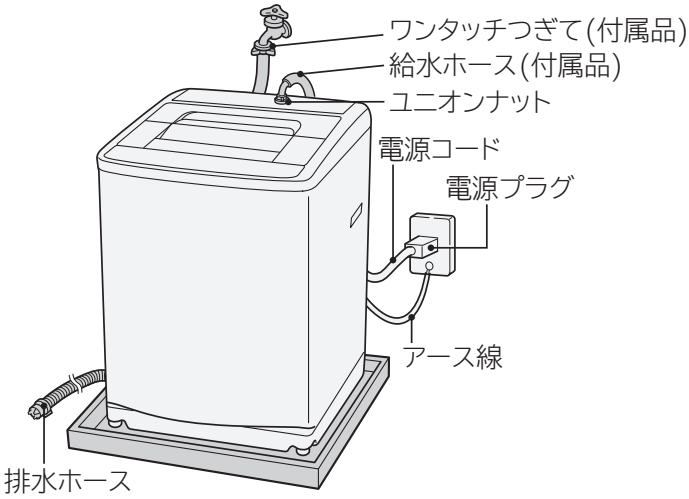








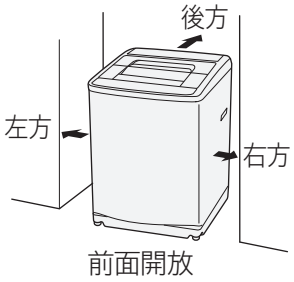
使用箇所



据え付け場所

据え付けに必要な寸法を確認してください。

●本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから下表の寸法以上離してください。
●排水ホースの引出側は、9cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。



場所	離隔距離(cm)
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5

※排水ホース側は9cm以上

●別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を使用するときは、排水ホース側を15cm以上あけてください。
●別売り部品の直下排水L形パイプを使用したときは、13cm以上あけてください。

しっかりした床に、水平に据え付けてください。

すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなることがあります。

直射日光が当る場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。

本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色したり、本体が故障する恐れがあります。

屋外など凍結のおそれのある場所には、据え付けないでください。

本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害を招くことがあります。

⚠ 警告

浴室などの湿気の多い場所には据え付けない
絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。浴室など湿気の多い場所を避けて据え付けてください。

風雨にさらされる場所には据え付けない
絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。風雨のあたらない場所に据え付けてください。

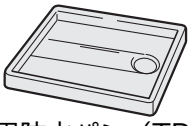
有機溶剤を扱う場所に据え付けない
引火して火災の原因になります。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤を扱う場所には据え付けないでください。

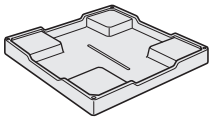
防水パン、洗濯機用トレー、全自動専用設置台

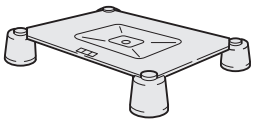
設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

床面を結露による水滴から守るときに、別売り部品の洗濯機用防水パン(TP-780)や洗濯機用トレー(YT-4)を設置することをおすすめします。

洗濯機用防水パン(TP-780)の設置には、施工業者の工事が必要です。


洗濯機用防水パン（TP-780）
(幅780×奥行640×高さ63mm)


洗濯機用トレー（YT-4）
(幅640×奥行640×高さ83mm)


全自動専用設置台（UP-D3）

⚠ 警告

防水パン使用時は、防水パンの排水に注意する
防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれて感電する恐れがあります。防水パンの排水に異常がないか確認をしてください。

本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、本体の脚を防水パンから外に出して据え付けるときは、別売り部品の全自動専用設置台(UP-D3)を設置することをおすすめします。

キャスター付きの設置台や底面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、本体が転倒してけがをするおそれがありますので、使用できません。

⚠ 警告

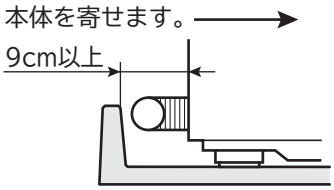
キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがの原因になります。しっかりした床に水平に据え付けてください。

全自動専用設置台を使用する
本体を高くする場合に全自動専用設置台以外を使用すると、本体の下に手足などが入り、けがをする恐れがあります。本体を高くする場合には、全自動専用設置台を使用してください。

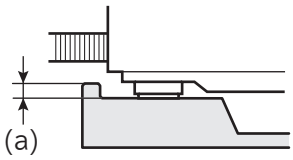
防水パンの設置

内寸が幅62cm以上、奥行54cm以上、高さ8cm以内の防水パンに設置できます。(BL規格防水パン対応)

●排水口の位置によっては、別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)が必要です。
●排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を設置することをおすすめします。
●排水ホース出口位置が防水パンの高さより高い場合は、本体を寄せて排水ホース側のスペースを9cm以上確保してください。



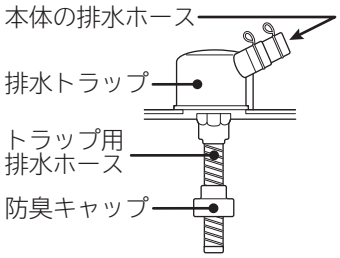
●四隅が高くなっている防水パンは、排水ホース出口位置が高くなります。
(a)寸法が19mm以下の防水パンに設置できます。



排水トラップの設置

排水口からの逆流やにおいの吸い込みを防ぐために、別売り部品の 洗濯機用排水トラップ(YT-T1)を設置することをおすすめします。

●排水トラップ(YT-T1)の設置には施工業者の工事が必要です。
●据え付けにあたっては、設置条件を確認してください。
本体横に13cmの設置スペースが必要です。

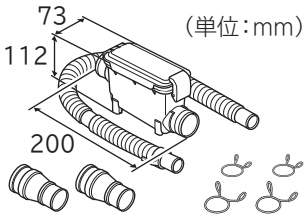


洗濯機用排水トラップ(YT-T1)

糸くずボックスの設置

排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったときや、掃除が困難な設置条件の場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を設置することをおすすめします。

●排水ホースに取り付け、洗濯した際の糸くずなどを集めて取り除きます。
●排水トラップを使用する場合は、あわせて設置することをおすすめします。
排水トラップの詰まりを防止することができます。



糸くずボックス(WLB-4)

排水ホースの引き出しかた

⚠注意

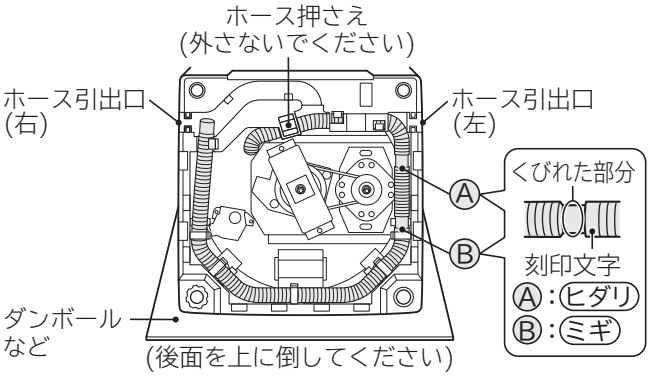
水漏れ

排水ホースは適正位置まで引き出す
内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、ホースが破れて水漏れの原因になります。
排水ホースを引き出し、刻印文字を本体の外側に合わせて、くびれ部をホース引出口に差し込んでください。

排水ホースは、出荷時本体下部に固定されています。

排水口の位置に応じて、下記手順に従って本体の左側、あるいは右側に付け替えてください。
排水口の位置が本体の下にあるときは、「本体の下に排水口がある場合」→**(P.10)**をご覧ください。

お願い 固定されている排水ホースを引き出す場合、無理に引っ張らないでください。



1 本体を静かに前側へ倒す

本体を倒す場合、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。
部品が破損や故障する原因となりますので、静かに倒してください。

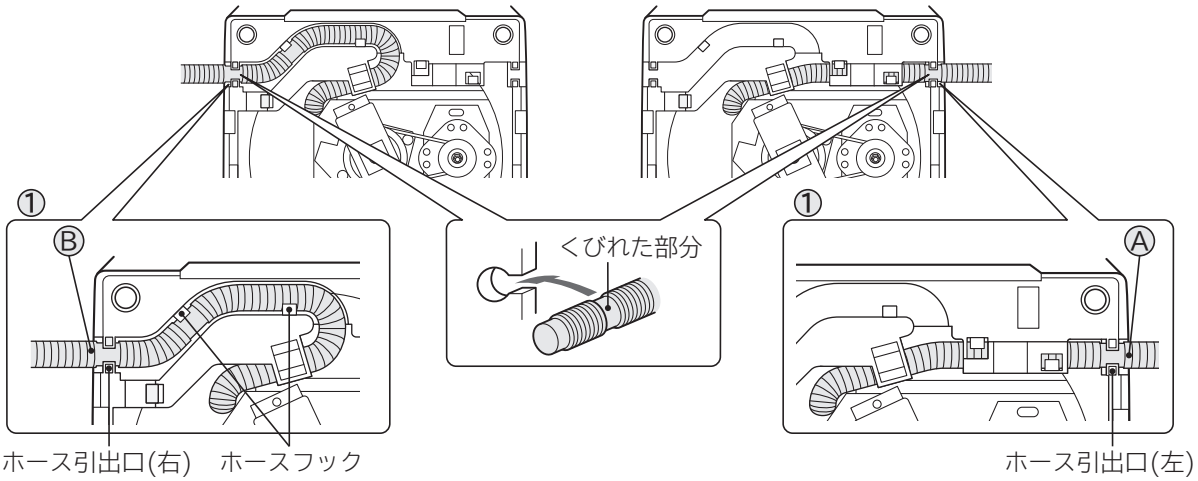
2 排水ホースを本体から取り外し、ホース引出口(右)、または(左)に取り付ける

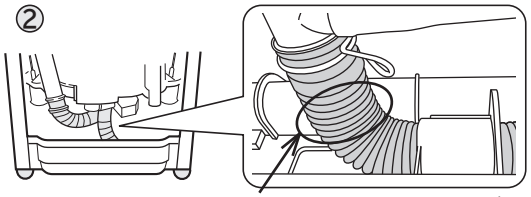
① 左側に排水ホースを出す場合：排水ホースの刻印文字(Ⓐ:ヒダリ)を本体の外側に合わせ、くびれた部分をホース引出口にはめ込む

右側に排水ホースを出す場合：排水ホースの刻印文字(Ⓑ:ミギ)を本体の外側に合わせ、くびれた部分をホース引出口にはめ込む

② 排水ホースが本体内部でねじれていないか確認する

ホース引出口(右)に取り付ける場合　　**ホース引出口(左)に取り付ける場合**





お願い ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。また、排水ホースのくびれた部分で固定するようにしてください。

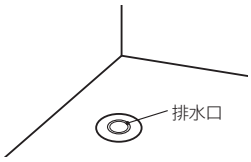
3 排水ホースの先端は、しっかり排水口に差し込む

排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

排水ホースの接続

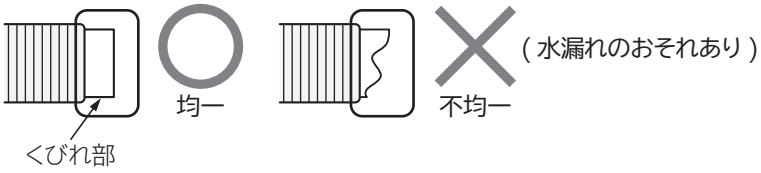
❶ 排水ホースを排水口に差し込む場合

排水ホースの先端に、ホースピースが付いていることを確認してください。
ホースの長さを調節するときは、下記の手順により作業を行ってください。

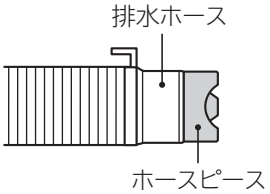


排水ホースの長さ調節のしかた

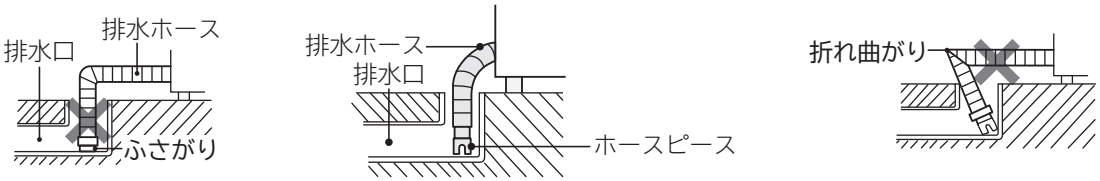
①希望長さの近傍のホース溝部をはさみやカッターなどで切断する
切断面は均一にしてください。
排水ホースを切断の際は、けが防止のために手袋を着用してください。



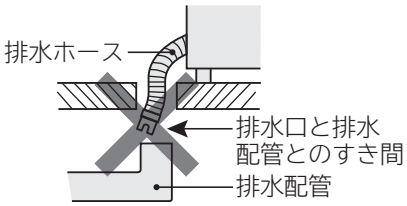
②排水ホースの先端についているホースピースを付け直す
ホースピースを付けないと、排水が悪くなり、すすぎが不十分になったり、発泡して運転が止まることがあります。



●排水ホースの先端がふさがってないか確認してください。
排水口が浅く、先端がふさがっていると、排水が悪くなります。
●排水ホースは折れ曲がらないように差し込んでください。
●排水ホース先端が、排水の力や振動などで抜けないよう、しっかり差し込んでください。



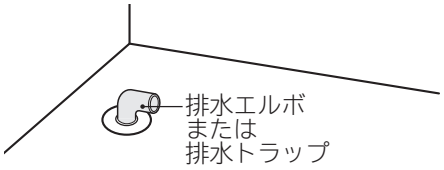
排水配管が見えない場合は、排水配管の位置を確認してから、排水ホース先端を差し込んでください。
確認しないで差し込むと、水漏れの原因になります。



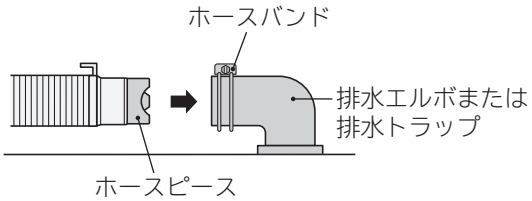
❷ 排水エルボまたは排水トラップに接続する場合

① ホースピースを排水エルボまたは排水トラップに接続する

② 接続後、ホースバンドで固定する



お願い ホースピースの根元までしっかりと差し込んでください。また、ホースバンドを固定した後は排水ホースが抜けないことを確認してください。
排水ホースが外れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。



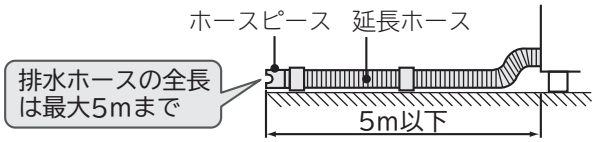
排水ホースの接続(つづき)

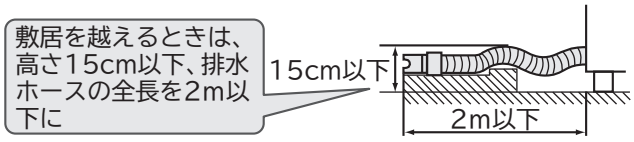
排水ホースの延長

排水ホースを延長するときは、別売り部品の延長ホースを使用してください。

部品番号　KW-50K1-023(長さ約80cm)

排水ホースを延長するときは、排水性能が悪くならないように、次の点をお守りください。



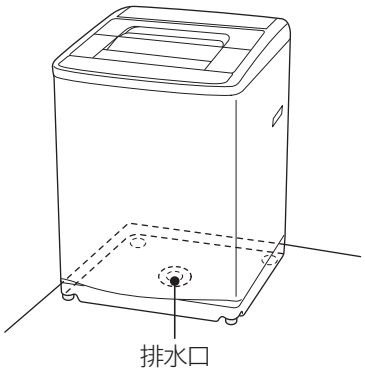


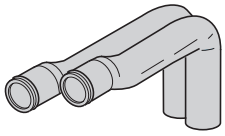
- **排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合は、ホースの全長を2m以下、ホースの高さを15cm以下とする。**
- 15cmを超えると、排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります。
- 延長ホースを使用する場合、排水性能が悪くなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- 排水トラップを設置している場合は、定期的にトラップ内を掃除するようにしてください。
  排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。

本体の下に排水口がある場合

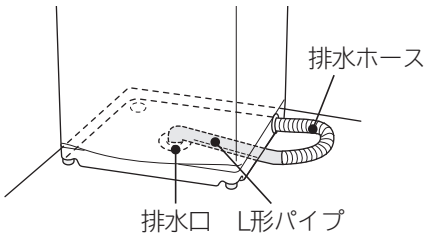
別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)を使用してください。

据え付けにあたっては、直下排水L形パイプ(HO-P5)に同梱の取扱説明書に従って設置してください。





直下排水L形パイプ
(HO-P5)



据え付け時の状態

お願い 右図のような排水ホースの取り出しはしないでください。
水漏れや異音の原因になります。

水平を確認する

⚠注意

指示

本体を水平に据え付ける
本体の異常振動により、けがの原因になります。
しっかりした床に水平に据え付けてください。

1 本体を据え付け場所に置く

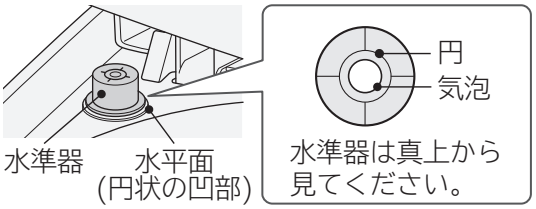
本体がガタつく場合は、次のように調節してください。

調節脚側が、ガタつく場合
調節脚を高くしてガタつきをなくしてください。

調節脚の反対側が、ガタつく場合
別売りの脚キャップを使用してガタつきをなくしてください。

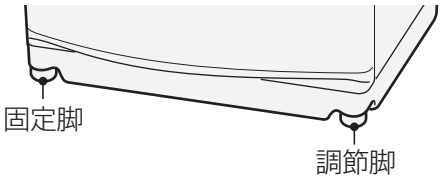
2 ふたを開け、左奥の水平面(円状の凹部)に同梱の水準器を置く

※水準器は洗濯機専用です。



3 水準器の気泡の位置を確認する

気泡が円の中に入っている場合は、脚の調節は必要ありません。



4 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に別売り部品の脚キャップを取り付ける（調節脚は回して高さを調節します）

5 本体にガタつきがないか確認する

ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください。

脚キャップについて

- 別売り部品の脚キャップは、4mm、8mmが各2個同梱されています。
  必要に応じ、組み合わせて使用してください。
  組み合わせて使用するときは、高さの低い方を下にしてください。
- 脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。

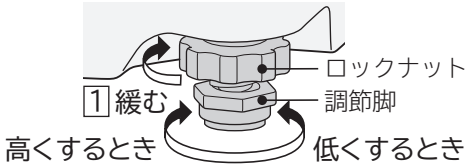
4mm　8mm
（各2個）

水平を確認する(つづき)

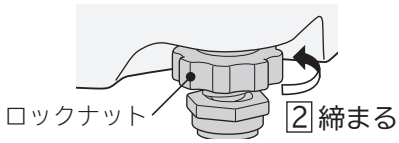
調節脚の使いかた

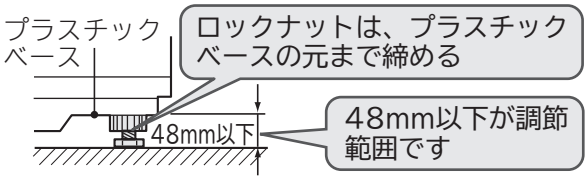
1 ロックナットを矢印方向 1 に回して緩め、調節脚を回してガタつきを調節する

14mmまで高さ調節ができます。



2 調節が終わったら、ロックナットを矢印方向 2 に回して固定する





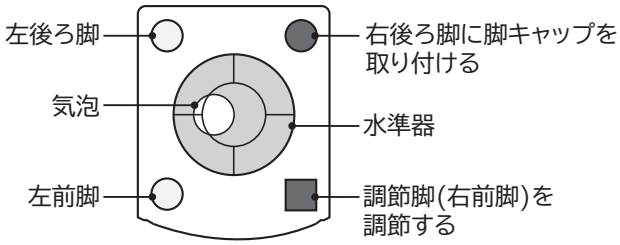
水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

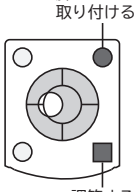
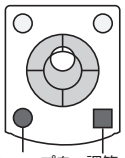
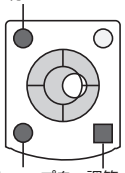
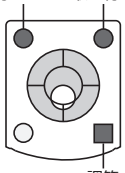
■下表の見方

気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します。

（例）気泡が左脚方向にはみ出している場合：調節例の①

（本体を上から見た状態です）



調節例			
気泡が円からはみ出している場合			
① 	② 	③ 	④ 

アース線の取り付け

⚠警告

アース線接続

アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。
アース工事は第二種電気工事士が行ってください。
ガス管、電話線、避雷針、水栓(蛇口)には接続しないでください。
(法令などで禁止されています)

（電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています）

アース線を取り付けてください。

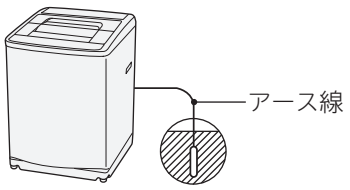
- ●万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- ●アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- ●据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行ってください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。



電源(コンセント)

⚠警告

禁止

電源コードを傷つけない
電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードの傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじりや重いものを載せたり、挟み込みなどをしないでください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると感電の原因になります。
電源プラグを抜き差しするときは、手を拭いてください。

傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しない
そのまま使用すると、感電・ショート・発火の原因になります。
修理を実施してください。

タコ足配線はしない
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントを単独で使ってください。

延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
延長コードを使用せずに電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

電源

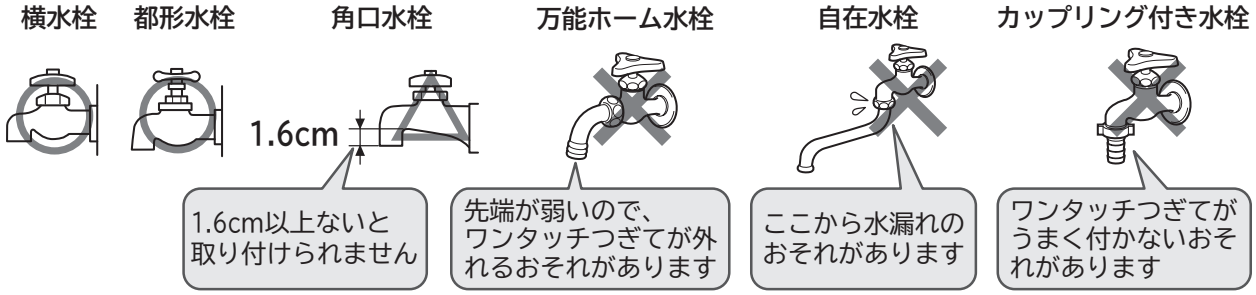
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントの定格を確認のうえ、単独で使ってください。

水栓(蛇口)の確認

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。
施工業者または販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

ワンタッチつぎてを使用する水栓の場合

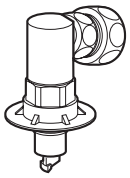
横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用してください。
適さない水栓にワンタッチつぎてを使用すると、水漏れするおそれがあり、保証はできません。
自在水栓は使用できません。



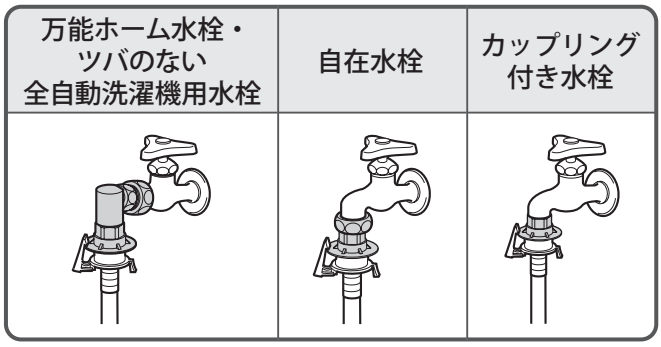
ワンタッチつぎてを使用できない水栓の場合

給水栓ジョイント(オートストッパー付)
CB-J6(別売り部品)

オートストッパー付水栓部品を使用してください。給水ホースが外れると、自動的に給水をストップし、水漏れを防止します。
取り付け方法は、部品の取扱説明書をご覧ください。
※右記以外の給水栓部品は使用しないでください。ツバがないと外れて水漏れするおそれがあり、保証はできません。

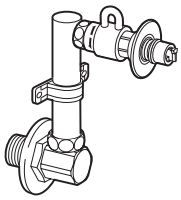


給水ホースの接続例



水栓の位置が低く、本体の背面に水栓が当たる場合

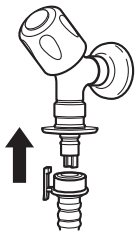
壁ピタ水栓(オートストッパー付)
CB-L6(別売り部品)

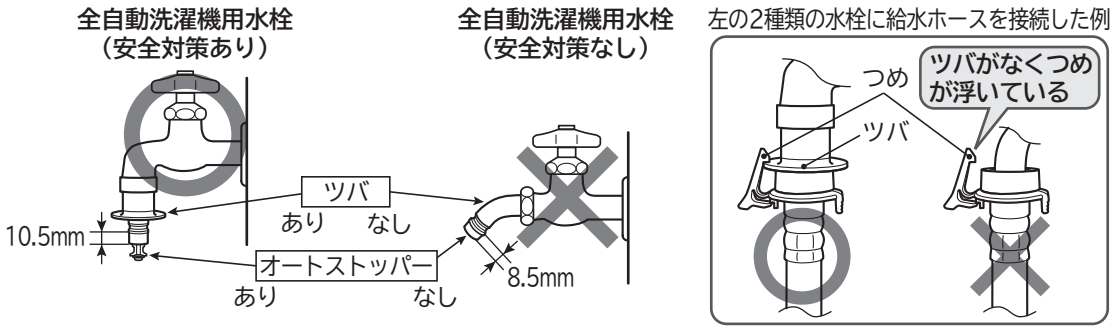


全自動洗濯機用水栓

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)にも適合しない物があります。
使用する場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓を使用してください。
(オートストッパー付きでツバがあり、先端寸法が10.5mmのものであれば問題ありません)
使用している水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。
ただし、ツバのないものは使用できません。
また、水栓接続部にさびや傷があると、水漏れの原因になるため使用できません。

全自動洗濯機用給水栓
(オートストッパー付)
YS81(別売り部品)





※オートストッパー付きは、給水ホースが抜けると自動的に給水が止まります。

ワンタッチつぎての取り付けかた

⚠注意

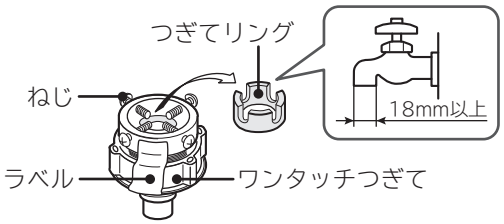
水漏れ

ワンタッチつぎてをしっかり締め付ける
付属品以外のワンタッチつぎてを使用したり、締め付けが不十分な場合、水漏れの原因になります。
付属品のワンタッチつぎてを使用して水栓にしっかり締め付けてください。

水栓(蛇口)およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする
振動により水漏れの原因になります。
水栓(蛇口)およびワンタッチつぎてが本体に触れないように据え付けてください。

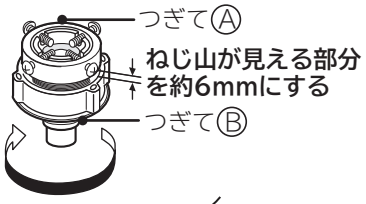
❶ 水栓(蛇口)の直径を確認する

直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

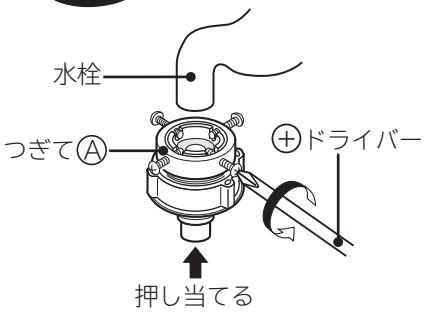


❷ つぎてⒶ、Ⓑとのすき間が6mmあることを確認する

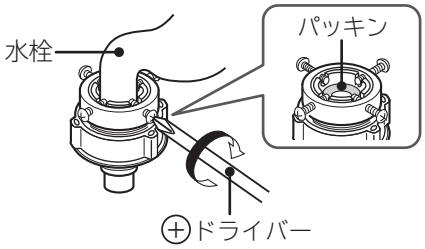
つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。



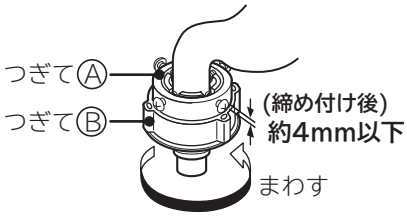
❸ つぎてⒶのねじ4本を水栓の直径まで緩め、水栓(蛇口)の先端に押し当てる



❹ 壁側になるねじを先に手で締め、水栓(蛇口)がパッキンの中心になるように、ねじ4本を均等にしっかり締め付ける



❺ つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を約4mm以下にする



●給水ホースの取り付けは、「給水ホースの取り付けかた・外しかた」→**(P.16)**をご覧ください。
●長年使用するとねじやつぎてⒶ、Ⓑが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
定期的に点検し、緩んでいる場合は❷～❺の手順に従い、取り付け直してください。
付け直しても水漏れするような場合には、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り替えてください。
(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)
●ワンタッチつぎてが壊れたり、紛失した時は、別売り部品のワンタッチつぎて(NW-8EX 043)をお買い求めください。
●長年使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。

給水ホースの取り付けかた・外しかた

本体

ユニオンナットの取り付けかた

⚠注意

水漏れ

給水ホースの本体接続時は、ユニオンナットをしっかり締め付ける

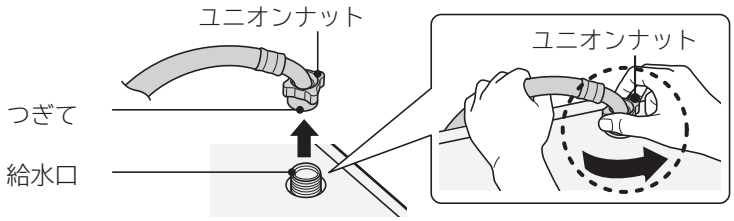
ユニオンナットが緩むと水漏れの原因になります。

給水ホースを本体に接続するときは、給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。さらに、ユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付けてください。

- ●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
- ●ねじやワンタッチつぎてをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り替えてください。
- ●長年使用するとねじ、ワンタッチつぎてやユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

ユニオンナットの外しかた

1. 水栓(蛇口)を閉める
2. 電源 [⏻] を押し、電源を入れる
3. [便利] を押して「槽洗浄」コースを選ぶ
4. [スタート 一時停止] を押し、約1分間運転する
5. [スタート 一時停止] を押し、一時停止する
6. 電源 [⏻] を押し、電源を切る
7. ユニオンナットを矢印方向に回して外す

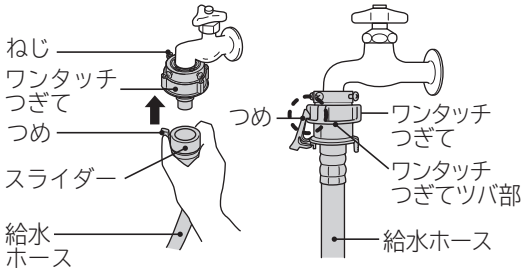


給水ホースの取り付けかた・外しかた(つづき)

水栓(蛇口)

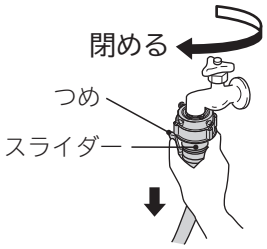
取り付けかた

1. スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む
2. スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる
   - ●給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバにしっかり掛かっていることを確認してください。
   - ●給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。



外しかた

1. 水栓(蛇口)を閉める
2. 電源 [⏻] を押し、電源を入れる
3. [便利] を押して「槽洗浄」コースを選ぶ
4. [スタート一時停止] を押し、約1分間運転する
5. [スタート一時停止] を押し、一時停止する
6. 電源 [⏻] を押し、電源を切る
7. つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す



給水ホース関連部品

給水ホースを延長するとき

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

本体と水栓(蛇口)の距離が近いとき

長さ	部品番号
0.5m	NW-6SD-031

据え付け後の確認

据え付けが完了しましたら、別紙「洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)」に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

試運転

設置後は、洗濯・脱水槽内に何も入れないで下記手順で試運転を行い、異常音、ホース取り付け部からの水漏れや、排水ホース先端が排水口から抜けていないかなどを確認してください。

1. **電源を入れ、「洗濯コース」ボタンを押し、「標準」コースを選ぶ**
2. **洗い「3分」、脱水「1分」を選び、 「スタート/一時停止」ボタンを押す**
3. **水量が表示されたら、ふたを閉めて水栓(蛇口)をゆっくりと開ける**

本体に急激な水圧をかけないため、水栓(蛇口)はゆっくりと開けてください。
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。
運転が始まり、約11分後に自動で停止します。

運転行程	確認のポイント
① 給水	・給水されているか ・接続されたホース(給水ホースなど)から水漏れがないか
↓	
② 洗い	・かくはん翼が回っているか(動作音で確認) ・水漏れや異常音がないか
↓	
③ 排水 ④ 脱水	・きちんと排水されているか ・接続されたホース(排水ホースなど)から水漏れがないか ・異常音がないか

※時間は、水道水圧や排水状態により変動します。

- ふたが閉じていないと「洗い」と「脱水」が全点滅し、運転も停止します。ふたを閉じて運転してください。
- 終了音が鳴り、自動で電源が切れます。
- 運転終了後に、給水ホース接続部や本体から水漏れして、床面などがぬれていないかを確認してください。
- 購入後、最初に使用されるときはモーターのなじみ運転の影響により、水量表示が少なめに表示される場合があります。問題ありませんので、そのまま使用してください。
- 長年使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。

⚠注意

水漏れ

水漏れがないか確認する

ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
据え付け直後や移設直後など水栓接続を変えたあとは、水栓(蛇口)を開いて水漏れがないか確認してください。

お客様への説明

・別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
・この据付工事説明書は、据え付け後お客様にお渡しください。なお、取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
・実際に使用される方が不在の場合には発注者様あるいは管理人様にご説明ください。

三菱電機株式会社
〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3　東京ビル